

平成 24 年度 近畿地区公立中学校修学旅行委員会事業計画

〔基本方針〕

修学旅行は最大の学校行事であり、学校教育の総仕上げとして生徒の人間形成上重要な影響を与えてきた我が国独自の伝統的教育行事であります。

近畿地区公立中学校修学旅行委員会は、修学旅行の三原則—安全性の確保・教育性の高揚・経済性の適正化—をめざして修学旅行の在り方を追究してまいりました。

本年度より完全実施される学習指導要領においても、「平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行う。」と規定されています。

今日、子どもたちの生活体験の不足、人間関係や連帯感の希薄化、集団や社会の一員としての自覚や責任感の低下等に対応して、自然・歴史・文化とのふれあい、人々との幅広い交流、正しい勤労観・職業観の育成などをめざした「感性をはぐくむ修学旅行の展開」が期待されています。

本委員会は、長年の調査・研究活動で培ってきた成果を生かし、これからの修学旅行のあるべき姿を更に探究し、学校に示していくべきと考えています。

そのことを踏まえながら、『感性をはぐくむ修学旅行の展開』を基本テーマとし、とくに学校教育計画と連動した内容へと充実するため「学びの集大成を図る修学旅行」をめざして、いかに子どもたちが主体的に参加できるかを課題として研究をすすめてまいりたい。

〔重点推進事業〕

I 研究活動の充実

1 第 27 回 近畿地区中学校修学旅行研究大会（発表当番府県 京都府）

- (1) 第27回 近畿地区中学校修学旅行研究大会を成功させるために、各府県の中学校・関係機関の協力を得て、主題を『感性をはぐくむ修学旅行の展開』とし、本年度は「学びの集大成を図る修学旅行」について研究を深める。

- ・ 開催日時 平成24年11月9日（金） 午後1時 ～ 4時30分
- ・ 会場 京都市ホテル「ルビノ京都堀川」
- ・ 研究テーマ 「学びの集大成を図る修学旅行」
- ・ 発表校 京都府福知山市立夜久野中学校 衣川 裕二 校長
— 夜久野中学校の取り組み —（仮題）
- ・ 講演 杉田 洋 氏 国立教育政策研究所教育課程センター教育課程調査官
「学びの集大成を図る修学旅行」（仮題）

- ◎ 時程
- ・ 1：00～1：15 （開会挨拶 来賓含む）
 - ・ 1：20～2：00 研究発表（福知山市立夜久野中学校）
 - ・ 2：00～ 研究協議
 - ・ ～3：00 指導講評（京都府教育委員会指導主事）
 - ・ 3：00～3：20 休憩
 - ・ 3：20～4：20 講演（杉田 洋 氏）
 - ・ 4：20～4：30 閉会挨拶

- (2) 研究大会の発表校について

平成 21 年度運営委員会で再検討した結果、一長一短はあるが、研究発表 1 校と講演の形式を続けるとなっております。

平成 23 年度	発表 和歌山県	（会場 和歌山県）
平成 24 年度	発表 京都府	（会場 京都府）
平成 25 年度	発表 大阪府	（会場 大阪府）
平成 26 年度	発表 奈良県	（会場 奈良県）

2 修学旅行実施状況調査

平成 16 年度までは近畿地区独自の調査を行なってきましたが、平成 17 年度以降は従前、実施してきた近公修委独自の調査に加え全国調査の内容(全国は抽出・三地区は悉皆)も一部調査してまいりました。

平成 24 年度も昨年と同様の調査を実施します。(全修協の HP「修学旅行ドットコム」に掲載し PR もすすんで各方面で重宝されていますが、各学校でも活用をすすめていただきたい。)

3 修学旅行現地研修会

《実施する理由》

今、子どもたちは、生活体験が不足していて、人間関係や連帯感が希薄であります。また、集団や社会の一員としての自覚や責任感が低下している等の様々な指摘もあります。そのことを踏まえ、中学校の修学旅行は生徒の成長を考え、生きる力を育てることを主とした体験学習を取り入れ、現在、殆どどの学校で様々な形で体験学習を実施しています。

本委員会の現地研修会も平成 12 年度からは「体験学習の調査・開拓を中心とする研修」に切り替えてまいりました。各学校では、修学旅行の目的や生徒の実態に即した内容を開拓するために多くの関係者が努力を積み重ねていますが、学校独自の調査・研究には限度があると考えています。

近年、職員旅費の問題や保護者負担の高騰で旅行先を検討する時期にもきているようです。研究大会や現地研修会で得た情報は各府県で報告され、大きな情報発信となっており、本年度も一教育性の高揚・経済性の適正化・安全性の確保をめざして現地研修会を実施いたします。

《目標》

◎ これからの時代にふさわしい修学旅行先の研究・開拓（経済性の適正、安全性の確保）

◎ 教育性の高い体験学習の開拓。（教育性の高揚）

《研修先》

◎ 熊本方面

《時期》

◎ 平成 24 年 8 月 24 日(金)～25 日(土)

《目標参加人員》

◎ 各府県 2～3 名程度

《費用》

◎ 参加費 30,000 円程度

II 集約輸送について（近修委）

修学旅行実施状況調査においても、ここ数年費用の徴収が困難になってきているとの意見が増えています。近修委の集約輸送を利用すれば、関東・九州方面ともに高率の割引があり、信州方面の列車にも割引があります。保護者の負担を軽減する努力は学校としても社会情勢を考えれば当然のことかも知れません。平成 25 年度の集約申込はそういった意味合いからか、微増をしています。なお、地震による関東方面からの変更は 85%あまりでした。

関東、九州は独自も多く、集約輸送の優遇措置を近修委と協力してさらに PR する必要があると考えています。そのことは九州新幹線の集約拡大への取り組みにも影響いたします。

III 航空機を利用した沖縄・北海道への修学旅行（近修委・近公修委）

減便・機材の縮小などが進みつつある現状で、沖縄や北海道(近畿地区から)の航空機利用は厳しいものがあります。

航空運賃については今後も引き続き検討を要する課題であります。キャンセル料・最寄空港からの出発等の課題もあり、本委員会も近修委と協働することが重要と考えます。

例年、要望書を提出し、交流の場を設定してきておりますが、今後も継続していくが必要があると考えています。

IV 情報ネットの充実について（事務局 全修協）

近公修委の事務局である全修協では、情報ネットを充実するため平成19年度より内容を整理し閲覧しやすいように改善を図っております。

関東、東海、近畿三地区公立中学校修学旅行委員会のすべての情報やその他修学旅行に関する情報も掲載しており、今後も広範囲で修学旅行に役立つ充実した情報を掲載することができるよう努力してまいります。

V 平成24年度の事業等予定（●一部日修協・近修委の予定）

月	事業内容
4	○ 平成24年度諸活動の準備
5	○ 各府県委員名の確認・名簿作成 ● 近修委平成24年度第1回専門委員会（5月31日 大阪弥生会館）
6	○ 発表校への委嘱状発送（京都府福知山市立夜久野中学校） ○ 各府県教委へ研究大会の後援名義使用許可願い発送（運営委員に依頼） （京都府教委へは来賓出席・指導助言者派遣依頼も） ○ 近公修委平成24年度総会（6月22日 大阪市中央公会堂）
7	○ 研究大会準備等 ○ 第29回 全国修学旅行研究大会 〔7月30日（月）『グランドヒル市ヶ谷』会長・副会長等出席予定〕
8	○ 平成24年度現地研修会〔8月24日（金）～25日（土）南九州方面〕 ○ 第1回 運営委員会（研究大会・その他）（8月28日 a.m.）全修協大阪事務局 ● 近修委専門委員会（集約輸送申込み等について）（8月28日[火]p.m.）
9	○ 第27回 近畿地区修学旅行研究大会案内発送（9月3日[月]） ○ 平成24年度 修学旅行実施状況調査発送（9月3日[月]） ● 近修委 H.26 集約輸送申込み発送（9月3日[月]）
10	○ 第2回 運営委員会（10月初旬）全修協大阪事務局 ○ 平成24年度 修学旅行実施状況調査回答回収（10月29日[月]） ● 近修委集約輸送申込み締め切り（10月29日[月]）
11	○ 平成24年度 近畿地区中学校修学旅行研究大会 開催日時 平成24年11月9日（金） 13:00～16:30 会場 京都市 ホテル「ルビノ京都堀川」 内容 ・ 研究発表 京都府福知山市立夜久野中学校 ・ 講演 杉田 洋 氏 国立教育政策研究所 教育課程調査官 ○ 修学旅行実施状況調査集計開始 ● 近修委専門委員会（大阪弥生会館 11月28日[水] 平成26年度集約輸送抽選会）
1	○ 関東・東海・近畿3地区公立中学校修学旅行委員会連絡会代表者会 〔平成25年1月23日[水] 会長・運営委員長出席予定 担当関東〕
2	○ 第3回 運営委員会（反省と次年度の行事）（平成25年2月中旬）
3	○ 平成24年度のまとめと次年度の準備

（注） ●印は近畿中学校長会修学旅行専門委員会（日修協）主催の会議